

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人体のしくみと疾病総合Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	401教室
担 当 教 員	泉谷泰行 西岡佑記 中田拓哉 成川多慧子 井島洸佑	実務経験と その関連資格	(泉谷) 大学や専門学校にて約20年間、解剖学・生理学・病理学・疾病などの講義を行っている。 (成川) 和歌山県立医科大学附属病院に管理栄養士として勤務。			
《授業科目における学習内容》						
解剖生理や神経系、内科系、栄養学、リハビリテーション医学を中心に各々の関連性を理解しながら学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書: 言語聴覚士テキスト第4版 参考図書: リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学						
《授業外における学習方法》						
(泉谷) 本科目では主に、「体液・細胞・発生」「循環器系」「呼吸器系」「消化器系」の解剖生理学について学びます。各臓器は独立して存在し機能しているのではなく、互いに密接に関連し合いながら人体全体として働いていることを理解したうえで、それぞれの臓器やシステムを関連付けながら学習を進めましょう。 (成川) 栄養学のテキストを事前に読んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の過去問題を解き、出題の傾向を知る。 栄養学の知識が現場でどのように生かされているか学びましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液および細胞の構造の特徴について説明できる。		・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【解剖生理学の基礎①】 体液の組成および細胞の構造について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の機能および各器官の発生について説明できる。		・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【解剖生理学の基礎②】 細胞の機能および各器官の発生の流れについて学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造および機能について説明できる。		・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【循環器系①】 心臓の構造および心筋の基本的性質について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の機能について説明できる。		・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【循環器系②】 心周期、心音、心電図について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部の動脈の走行および枝について説明できる。		・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【循環器系③】 頭頸部の動脈の走行および枝、血圧の調節について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部の動脈の走行および枝について説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【循環器系④】 頭頸部の動脈の走行および枝について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈の走行および根について説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習 第1回～6回目までの小テストの実施
		各コマにおける授業予定	【循環器系⑤】 主な静脈の走行および門脈、奇静脈について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の種類と特徴について説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【循環器系⑥】 赤血球、白血球、血小板および創傷治癒について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	上気道について説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【呼吸器系①】 鼻腔、咽頭、喉頭の構造について学ぶ。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下気道について説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【呼吸器系②】 気管、気管支、肺の構造について学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	口腔から胃までの消化液および消化管ホルモンについて説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【消化器系①】 唾液、胃液の特徴および消化管ホルモンについて学ぶ。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腸管、肝胆膵の消化液および消化管ホルモンについて説明できる。	・プロジェクター ・配布資料 ・参考図書など	当該分野の予習、復習
		各コマにおける授業予定	【消化器系②】 腸液、膵液、胆汁の特徴および消化管ホルモンについて学ぶ。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内科学(循環器疾患、呼吸器疾患)を説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	循環器疾患、呼吸器疾患を学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内科学(血液疾患、腎臓疾患)を説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	血液疾患、腎臓疾患を学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内科学(内分泌・代謝疾患)を説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	内分泌・代謝疾患を学ぶ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人体のしくみと疾病総合Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	401教室
担 当 教 員	泉谷泰行 西岡佑記中田拓哉 成川多慧子井島流佑		実務経験とその関連資格	(泉谷) 大学や専門学校にて約20年間、解剖学・生理学・病理学・疾病などの講義を行っている。 (成川) 和歌山県立医科大学附属病院に管理栄養士として勤務。		
《授業科目における学習内容》						
解剖生理や神経系、内科系、栄養学、リハビリテーション医学を中心に各々の関連性を理解しながら学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書: 言語聴覚士テキスト第4版 参考図書: リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学						
《授業外における学習方法》						
(泉谷) 本科目では主に、「体液・細胞・発生」「循環器系」「呼吸器系」「消化器系」の解剖生理学について学びます。各臓器は独立して存在し機能しているのではなく、互いに密接に関連し合いながら人体全体として働いていることを理解したうえで、それぞれの臓器やシステムを関連付けながら学習を進めましょう。 (成川) 栄養学のテキストを事前に読んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の過去問題を解き、出題の傾向を知る。 栄養学の知識が現場でどのように生かされているか学びましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経系の全体像、大脳の構造や機能局在を説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の構造と機能を学ぶ			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳血管系や脳脊髄液、神経細胞の働き、神経伝導を説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	脳血管系や脳脊髄液、神経細胞、神経伝導を学ぶ			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経と末梢神経系の構造と機能を説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経系の構造と機能を学ぶ			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経系の病態、症候と疾患の概要を説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	神経系の病態を学ぶ			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学におけるリハビリテーションの理念、各種専門職の役割、ICFの概念を説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学総論を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	MMTなどの神経学的評価、運動療法、片麻痺患者のADL動作について説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	神経学的評価、各種治療と介入方法を学ぶ		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	栄養素のはたらきを説明できる	・プロジェクター ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	栄養素の機能と代謝を学ぶ		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	疾病と栄養の関係について説明できる	・プロジェクター ・配布資料	1年前期の復習
		各コマにおける授業予定	疾患に対する栄養療法を学ぶ		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			